

令和5年度 事業報告

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)



社会福祉法人
若草会

1. 法人概要

法人名	社会福祉法人若草会
法人設立年月日	平成27年12月25日
代表者名	理事長 古賀 良子
法人所在地	福岡県久留米市天神町134番地1
電話番号	0942-38-2606

2. 法人理念

「一人ひとりの豊かな生涯を共に寄り添い、支え合う介護の実現」

3. 沿革

平成27年12月	社会福祉法人若草会 設立
平成28年1月	理事長 古賀由紀子 就任
平成29年4月	地域密着型特別養護老人ホームわかくさ 開設
令和1年10月	特別養護老人ホームわかくさショートステイ(空床型) 開設
令和2年4月	社会福祉法人弥生の里福祉会 合併 第1種社会福祉事業 地域密着型特別養護老人ホーム弥生の里 追加 第2種社会福祉事業 弥生の里サービスセンター 追加 短期入所生活介護弥生の里 追加 公益事業 (1)生きがい活動支援通所事業の受託経営 追加 (2)特定高齢者通所型介護予防事業の受託経営 追加
令和2年7月	理事長 古賀良子 就任
令和4年8月	弥生の里サービスセンター 閉鎖

4. 事業内容

○第一種社会福祉事業

特別養護老人ホームの経営

○第二種社会福祉事業

老人短期入所事業の経営

○収益を目的とする事業

不動産貸与事業の経営

○公益事業

生きがい活動支援通所事業の受託経営

5. 【令和5年度の事業方針と重点的取り組み課題】

(1) 法人理念の理解による、寄り添う介護の実践

(2) 感染症や災害への対応力強化

①スタンダード・プリコーション(標準予防策)の理解と実践

②感染症・災害を想定した研修・訓練の実施

③災害時の福祉避難所の開設

(3) 地域包括ケアシステムの推進

①職員全員が認知症への対応力向上に向けた認知症介護基礎研修の受講

②認知症介護実践者研修の受講による、介護リーダーの育成

(4) 自立支援・重度化防止の取り組み

①機能訓練・口腔・栄養の専門職が連携し LIFE を活用した科学的介護の実践

(5) 介護人材の確保、介護現場の革新

①処遇改善加算、特定処遇改善加算、ベースアップ加算等を活用した、介護職の賃金見直しの実行

②ハラスメント対策強化のための研修会の開催

③介護記録ソフト「ほのぼの」を活用した介護記録の効率化

④Google スプレッドシートを活用した、他施設との情報共有

⑤スマートフォン、タブレットを活用した動画マニュアルの作成

6. 理事会及び評議員会開催状況

日時	議会名	(理事) (評議員) (監事)	議題
6月9日	第1回理事会	6/7 — 2/2	① 令和4年度 事業報告について ② 令和4年度 決算報告について 令和4年度監査報告 ③ 理事・監査の選任について ④ 評議員会の召集について
6月30日	第1回定時評議員会	— 7/9 —	① 令和4年度 事業報告について ② 令和4年度 決算報告について 令和4年度監査報告

			③ 理事・監査の選任について
	第2回理事会	6/7 — 1/2	① 理事長の専任について
3月 29日	第3回理事会	6/7 — 1/2	① 例話5年度 第1次補正予算案について ② 例話6年度 事業計画案について ③ 例話6年度 予算案について ④ 電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程について ⑤ 「第三者委員」について

7. 役員名簿

理事長	古賀 良子
理事	末次 輝
理事	大石 昌彦
理事	平松 義博
理事	林 利彦
理事	池末 直子
理事	田中 圭子
監事	田崎 創
監事	吉田 樹夫

8. 評議員名簿

評議員	稲吉 義弘
評議員	大石 純夫
評議員	木下 雅之
評議員	眞田 明子
評議員	熊谷 智彦
評議員	中村 茂人
評議員	古川 哲也
評議員	肥山 淳一郎
評議員	吉田 焯命

9. 令和5年度事業報告

地域密着型特別養護老人ホームわかくさ

■2023（R5）年度事業報告■

令和5年度特養わかくさは、①職員のケアの質向上 ②地域への取り組みに務めました。

① 職員のケアの質向上

令和5年度は、職員のケアの質をあげるために、教育体制を整え研修強化に務めました。

その中の一つに喀痰吸引研修があり、資格を取得することで、24時間看護師不在でも介護職員ができる体制を整えているところで令和6年度中には確立予定です。

そのことにより、誤嚥性肺炎の入院数減少させることができています。

自分達の学びによる質の向上が、目に見えて入居者様に影響していることで、職員のモチベーション向上にも繋がっています。また研修の強化により職員の問題意識も少しずつ高まり、離職率を下げることができていると思います。令和6年度は、各ユニットリーダーを中心に各ユニットの特性を活かした個別ケア取り組むことで更に職員のやりがいに繋げていきます。

② 地域への取り組みについて

令和5年新型コロナウイルスの位置づけが5類感染症になったとはいえ、未だ感染症拡大の不安があり、面会制限緩和は一進一退という状況でした。そこで、ご家族の不満や不安を少しでも払拭できるようにと当該施設での生活の様子や小さな変化もSNS等を使って逐一報告を行いました。

また地域の方々に「わかくさ」を知って頂くため、初めて出前講座を行いました。2か月に1回開催する運営推進会議においても多くの方に参加を募り「わかくさ」の運営、活動の様子を報告しています。最近のご意見も多く頂くようになり、施設に対する理解がより深まったように感じます。今後も地域の皆様に必要と言って頂けるような「わかくさ」事業所であり続けたいとスタッフ一同努力していく所存です。

弥生の里

■2023（R5）年度事業報告■

令和5年度の弥生の里は、①稼働率UP、②看取り介護加算の取得について取り組みました。

〈地域密着型特別養護老人ホーム 弥生の里 短期入所生活介護（ショートステイ）〉

①稼働率UPについて

令和5年コロナ発生から3年以上が経過しましたが、感染症の勢いは衰えず、弥生の里も7月、令和6年1月にクラスターが発生し利用者11名、職員7名合計18名感染してしまいました。その為やむなくショートの営業停止を行い、稼働率目標40%に対し31.9%で目標達成には至りませんでした。

しかし年間の稼働率は、2021年11.1%、2022年24.4%、2023年31.9%と着実に伸びています。また、ショートの現場経験がある介護スタッフ3名の入職もありました。マンパワーも充足したので令和6年度は営業停止を発生させないよう環境衛生、健康管理を十分に行い、稼働率45%を目標に取り組んでまいります。

〈地域密着型特別養護老人ホーム 弥生の里 介護老人福祉施設入所者生活介護〉

①稼働率UPについて

令和5年度は入所稼働率を100%とし入居待機者を増やし空室を作らない。を目標に取り組みました。その結果稼働率は96.0%で目標達成には至りませんでした。久留米のわかくさと小郡の弥生の里の人口、高齢化率を比較すると久留米は人口30万人、高齢化率28.1%、小郡は人口59,000人、高齢化率28.6%であり稼働率UPするには、介護度が軽い段階（介護度3）から入所獲得する必要があると考え、営業を強化しました。総数14件営業まわりを行い、ショートは6人の新規獲得に繋がりました。

ショートの新規獲得は入所へ繋がる扉と考えております。ショートを増やし入所待機者を増やす営業を令和6年度も強化し取り組んでまいります。

① 看取り介護加算の取得

令和5年度は、看取り介護加算を取得し2件の看取りを行いました。終の棲家になる当該施設は、介護度3から受入をしており在住期間は平均2年7ヶ月、最も長い方で7年間弥生の里で過ごされています。コロナ発生時期に看取り期に入った方もいましたが、いつでも面会できる部屋に移動しご家族と共に過ごす貴重な時間を提供してきました。本人が望む、または望むと思われるその人らしい最期の迎え方をご家族と共に、同じ気持ちで看取り介護にあたることに努めています。お亡くなりになった後開催するデスカンファにおいては、ご家族から病院でなく「弥生の里」で最期を迎えることが出来て良かったと感謝の言葉を頂き、スタッフも介護のやりがいだけでなく人生の感性を磨くことに繋がっているのではないかと考えます。これからも「死ぬこと」だけを前提としての支援ではなく、日常的なケアの延長線上として、最期まで利用者の「生きること」を支えることに努めます。

〈年間行事/職員研修・会議〉

月	行 事	職員研修・勉強会
4月	・石橋文化センター花見(わかくさ) ・さくら見学(弥生の里)	・接遇勉強会・口腔勉強会 ・感染強会 ・褥瘡研修会
5月	・花見・菖蒲湯 ・運営推進会議	・身体拘束・虐待防止・口腔勉強会 ・ノーリフティング勉強会
6月	大運動会	・感染症勉強会・福祉用口腔勉強会
7月	・七夕短冊・演奏会 ・運営推進会議(コロナで中止)	・事故防止・安全対策 (資料配布)
8月	・新型コロナ感染にて中止	・食事と栄養について・福祉用具勉強会 ・医療安全勉強会
9月	・敬老会 ・運営推進会議	・認知症ケアについて ・消火・避難訓練
10月	・コスモス見学(弥生の里)	・口腔ケアについて
11月	・焼き芋パーティー ・運営推進会	・看取り介護について
12月	・クリスマス会	・身体拘束・虐待防止について
1月	新型コロナ感染にて中止	・感染症について
2月	・施設作成神社参り	・褥瘡について
3月	・桜花見会 ・運営推進会議	・排泄について ・介護報酬改定勉強会

※入所判定会議は適宜開催